

平成 31 年・令和元年（2019 年）の福徳岡ノ場の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

○ 噴火警報・予報の状況、2019 年の発表履歴

2019 年中変更なし	噴火警報（周辺海域警戒） 火山現象に関する海上警報（周辺海域警戒）
-------------	--------------------------------------

○ 2019 年の活動概況

1 月及び 11 月に海上保安庁が上空からの観測を実施しました。1 月には福徳岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる緑色の変色水域が直径約 500m ～ 1 km で分布していました（図 1）。11 月には変色域は認められませんでした。海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

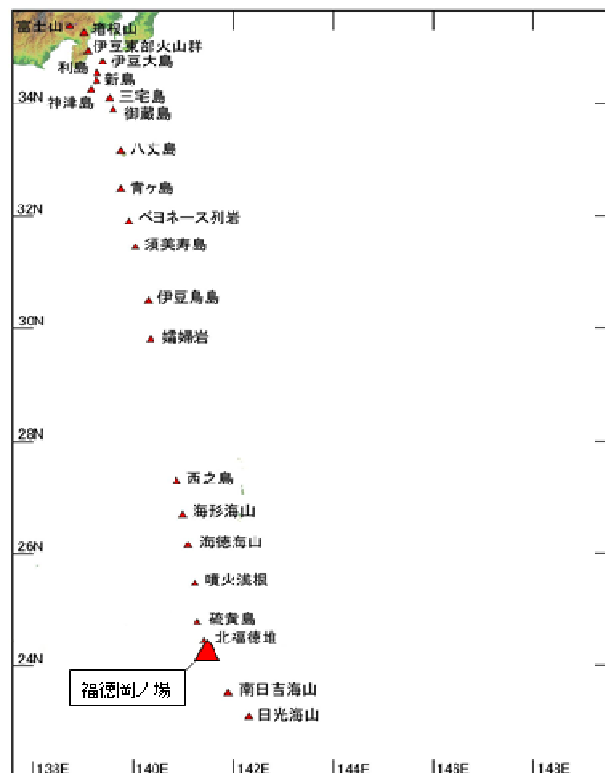


図 1 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場
地図は、日本活火山総覧（第 4 版）から引用。

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）



図 1 福徳岡ノ場 海上保安庁が実施した上空からの観測結果（1 月 29 日）
・薄い緑色の変色水域が直径 500m ～ 1 km の範囲に分布していた。